

事業報告書

(令和4年度)

令和4年4月1日

令和5年3月31日

東京都港区西新橋3丁目24番10号

学校法人 東京芸術学園

学校法人東京芸術学園 事業報告

令和4年度

新型コロナウイルスの影響下に置かれた学校生活も3年目を迎え、在校生たちも教職員たちも、コロナを特別なものと捉えるマインドから、当然あるものとして受け入れて共存していくマインドに切り替わったのが見て取れました。

授業の実施時間については、引き続き、昼間部授業の開講時間を従来の9:20から10:45にずらし、16:10には授業を終えて、ラッシュアワーを避けた時間帯に通学可能な状態を維持しました。これについては、令和5年度より学則を変更し、当校の新たな学びのスタイルを体現した新時間割として固定的に運用していくこととしました。

令和4年度後半より、徐々に海外からの入国者も増加し、年明けからはインバウンド復活の機運が高まってきましたが、まだ集団で日本から海外渡航することに対しては学生や保護者の心理的ハードルが高く、海外研修旅行は引き続き中止としました。またコロナ前と比較して、燃油サーチャージや海外都市のホテル代が高騰し、海外旅行コストはコロナ前の150%以上になっており、以前のような日数や訪問都市で海外研修旅行を実施することは現実的に難しくなっている感があります。渡航先を韓国など近隣国に変更する、欧州の場合は訪問地をロンドンおよびその周辺に絞って日数も減じて実施するなどの方策を検討する必要があるでしょう。

エンタテインメント業界のイベントにおいて人数制限が撤廃されたり緩和されたりしたことで、インターンシップ活動は急速にコロナ前の状態に戻ってきました。令和4年度においてはマスク着用などコロナ対策を施した上でのインターンシップという形でしたが、今後はアフターコロナの新たなインターンシップのあり方に変化していくものと思われれます。

設備工事関連事業としては17年ぶりに本館校舎の外壁工事を実施しました。夏休み期間を工期の中心に据えたことで、授業への影響も最低限に抑制することができましたが、17年前と比べれば工事コストは、3社から相見積もりを取ったにもかかわらず、190%と倍近くの出費となりました。

学生募集事業については、コロナ禍突入以降、対面型オープンキャンパスから個別相談やオンライン説明会+アンケートの形式に切り替えた状態を、令和4年度も維持しましたが、留学生招致活動が行えなかった影響もあり、令和4年度入学者数は3桁を割る結果になりました。今後も18歳人口は右肩下がりであるため、令和5年度から動き出せる見込みの留学生招致事業にも力を入れ、3桁確保に向けて努力、工夫を継続していきたいと思います。

法人の概要

<設置する学校／専門課程／学科【定員および学生数】>

音響芸術専門学校／音響技術専門課程

【定員 310（昼 250・夜 60）・学生数 189（昼 159・夜 30）】

<昼間部>

- ・ 録音・PA 技術科（2年制）【定員 80・学生数 47】
- ・ ライブ音響・コンサートスタッフ科（2年制）【定員 40・学生数 28】
- ・ 音響監督・ビジュアルアート制作科（2年制）【定員 40・学生数 19】
- ・ ミュージカル&ステージスタッフ科（2年制）【定員 60・学生数 47】
- ・ 音響テクニカル・アーティスト科（3年制）【定員 30・学生数 18】

<夜間部>

- ・ 夜間総合学科（2年制）【定員 60・学生数 30】

<役員・教職員の概要>

● 理事長：見上陽一郎、常務理事：見上浩司、理事：菊田俊雄、草笛光子、中原雅考、小暮隆生、春風ひとみ

● 教職員

音響芸術専門学校 77 名（専任教員 12・専任職員 4・常駐兼任教員 3・兼任教員 56・兼任校医 2）

令和4年度の事業概要

① 学生募集事業

オープンキャンパス（OC）開催日の午前中を「個別相談会」とし、原則「ダブルヘッダー」で募集イベントを展開する方式を維持した結果、令和3年度の入学者数は96名と目標の3桁にはあと一歩及ばない結果となりました。

② インターンシップ事業（提携先企業団名、敬称略）

コンサート音響会社「クレアジャパン」とのインターンシップ提携が軌道に乗ってきました。同社機材倉庫において、フェスで使用する機材の送り出しや受け取りの業務、音楽イベントでの補助業務などにコンスタントに学生たちが参加しました。

ブイラボミュージカル主催の公演におけるスタッフワーク、ワークショップ見学によるインターンシッププログラムは、同団体の協力のもと、令和4年度も活発に展開されました。

6月には、日本オーディオ協会主催の「音の日」が、二日間にわたって有楽町の国際フォーラムで実施され、当校の昼間部1年生全員が、受付、案内などのスタッフとして参加しました。

KOX ラジオ社が運営する渋谷のライブハウス「テイクオフセブン」との提携も本格化しています。ライブ音響・コンサートスタッフ科の学生たちが交代で週末のイベントにスタッフとして参加しているほか、インターン活動を経て、同社に就職したり、アルバイトやフリーエンジニアとして業務参加したりする在校生や卒業生も増加しています。また、「新中野弁天」でのインターンシップイベントも実施され、ライブ音響・コンサートスタッフ科の1年生が全員で参加しました。

イベント制作会社「ALIVE」との提携も活発化しています。同社が制作する、音楽イベント、演劇系イベント等に各学科の在校生が継続的に参加しています。

舞台制作会社「CUBE」主催公演のロビーワーク補助のインターンシップは令和4年度も引き続き実施され、ミュージカル&ステージ制作科の希望学生が参加しました。

③ 卒業制作・研究発表会実施事業

令和2年度から3年続けて、YouTubeへの限定公開による、「オンライン卒業制作・研究発表会」を開催しました。コロナ禍以降、学生たちがオンラインでの創作活動や試聴に慣れ親しんできたからなのか、学生の取り組みや作品の完成度には進化が見られました。やはり今年度も、卒業制作の過程で不登校になるなどして離脱し卒業単位

取得が不可能になる学生の割合は減少しており、潜在的に発達障害や鬱傾向、不安症などを抱える学生たちにとっては、対人的葛藤、トラブルを抑制することのできるオンライン発表を前提とした卒業制作にはメリットも小さくないことが証明されています。

④ コロナ感染対策事業

消毒液散布機や様々な目的別消毒液、マイク用消毒スプレーなどを大量に購入して学内各所に配備するなどの基本対策を令和4年度は継続しました。但し、年度末に、アフターコロナへ向けた政府の方針転換が発表されたことに鑑み、学内各所に配置されていたアクリル板のパテーションは、年度末の段階で全て撤去しました。

⑤ 大規模修繕事業

本館校舎の外壁工事を、夏休み～9月にかけて実施しました。

また、本館校舎竣工後に、雨除けの必要性から外階段に取り付けられたアクリルパネルが老朽化していたため、これも全面的に新規のパネルに取り付け直しました。

同時に、錆が発生していた外階段の踊り場部分の錆落としと塗装を行い、外階段を覆うクロスも全て新しいものに交換しました。

以上

貸借対照表

令和 5年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	〔 600,482,090 〕	〔 591,503,971 〕	〔 8,978,119 〕
有形固定資産	(440,331,647)	(439,677,465)	(654,182)
土地	353,140,250	353,140,250	0
建物	56,965,048	58,878,440	△ 1,913,392
建物付属設備	23,571,223	26,040,820	△ 2,469,597
構築物	0	10,553	△ 10,553
教育研究用機器備品	6,226,419	1,028,338	5,198,081
その他の設備造作	428,707	579,064	△ 150,357
無形固定資産	(1,190,155)	(624,067)	(566,088)
ソフトウェア	1,190,155	624,067	566,088
その他の固定資産	(158,960,288)	(151,202,439)	(7,757,849)
差入保証金	32,500,000	32,500,000	0
生命保険積立金	24,212,339	22,745,639	1,466,700
投資有価証券	102,247,949	95,956,800	6,291,149
流動資産	〔 267,479,915 〕	〔 293,870,426 〕	〔 △ 26,390,511 〕
現金預金	208,836,941	292,532,214	△ 83,695,273
未収入金	0	0	0
前払金	0	0	0
立替金	926,700	49,010	877,690
預け金	57,716,274	1,289,202	56,427,072
仮払金	0	0	0
資産の部合計	867,962,005	885,374,397	△ 17,412,392
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	(0)	(0)	(0)
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	0	0	0
流動負債	〔 171,722,185 〕	〔 200,542,691 〕	〔 △ 28,820,506 〕
未払金	4,868,048	11,901,859	△ 7,033,811
前受金	166,055,900	187,770,000	△ 21,714,100
預り金	793,237	870,832	△ 77,595
仮受金	5,000	0	5,000
負債の部合計	171,722,185	200,542,691	△ 28,820,506
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金			
第1号基本金	516,714,104	509,617,588	7,096,516
第4号基本金	125,000,000	125,000,000	0
繰越収支差額	54,525,716	50,214,118	4,311,598
翌年度繰越収支差額	54,525,716	50,214,118	4,311,598
純資産の部合計	696,239,820	684,831,706	11,408,114
負債及び純資産の部合計	867,962,005	885,374,397	△ 17,412,392

注 記 1. 減価償却額の累計額の合計額 87,545,861 円

2. 投資有価証券の期末評価額の合計額 123,542,377 円

(注) 1. この表に掲げる科目に計上すべき金額がない場合には、当該科目を省略する様式によるものとする。

2. この表に掲げる科目以外の科目を設けている場合には、その科目を追加する様式によるものとする。

財 産 目 録

令和 5年 3月31日

	科 目	年 度 末
一	資産額	
	(一) 基本財産	
1	土地 校 地	東京都港区西新橋3丁目24番10号 総面積 132.2㎡ 353,140,250 円
2	建物 (1)校 舎	東京都港区西新橋3丁目24番10号 総面積 961.2㎡ 56,965,048 円
3	建物付属設備	外階段改修工事他(別紙固定資産明細書の通り) 23,571,223 円
4	構築物	看板(学校)他(別紙固定資産明細書の通り) 0 円
5	教具・器具・備品	別紙固定資産明細書の通り 6,226,419 円
6	その他の機器備品	別紙固定資産明細書の通り 428,707 円
7	ソフトウェア	別紙固定資産明細書の通り 1,190,155 円
8	投資有価証券	岡三証券(株) 102,247,949 円
9	敷金	建物 賃借敷金 日本音響設計(株) 32,500,000 円
10	保険積立金	アクサ生命保険(株) 24,212,339 円
	小 計	600,482,090 円
	(二) 運用財産	
1	預金,現金 現 金	現金手許有高 1,910,551 円
	普通預金	みずほ銀行 浜松町支店 他 (別紙預金残高証明書の通り) 113,702,929 円
	普通預金	りそな銀行 (別紙預金残高証明書の通り) 11,649,316 円
	普通預金	三井住友銀行 日比谷支店 46,479,416 円
	定期預金	みずほ銀行 浜松町支店 (別紙預金残高証明書の通り) 35,094,729 円
	小 計	208,836,941 円
2	未収入金	令和 4年度授業料未収額 0 円
3	立替金	従業員住民税立替分他 926,700 円
4	預け金	岡三証券(株)預け金 57,716,274 円
	小 計	58,642,974 円
	合 計	867,962,005 円

二 負債額

1 流動負債

(1) 未払金	別紙明細書の通り	4,868,048 円
(2) 前受金	令和5年度授業料等	166,055,900 円
(3) 預り金	職員、講師源泉税・住民税	793,237 円
(4) 仮受金	学生返金分表彰金	5,000 円
合計		171,722,185 円

[事業活動収支計算書]

令和 4年 4月 1日 から

令和 5年 3月31日 まで

令和 4年度

(単位 円)

事業活動収入の部		予算	決算	差異
科 目				
学生生徒等納付金収入				
授業料収入		120,000,000	124,350,000	4,350,000
入学金収入		32,500,000	31,520,000	-980,000
実習費収入		23,500,000	24,770,000	1,270,000
施設設備資金収入		16,000,000	17,040,000	1,040,000
教科書等収入		2,000,000	2,450,530	450,530
維持費収入		25,000,000	24,530,000	-470,000
附帯教育費収入		300,000		-300,000
小計		219,300,000	224,660,530	5,360,530
手数料収入				
入学検定料収入		1,800,000	1,480,000	-320,000
試験料収入		130,000	142,500	12,500
証明手数料収入		66,000	113,000	47,000
小計		1,996,000	1,735,500	-260,500
寄付金収入				
特別寄付金収入				0
一般寄付金収入				0
現物寄付金収入				0
小計		0	0	0
経常費等補助金				
都補助金収入		200,000	200,000	0
私学財団助成金収入		2,850,000	5,469,000	2,619,000
小計		3,050,000	5,669,000	2,619,000
付随事業収入				
補助活動収入				0
付随事業収入				0
受託事業収入				0
小計		0	0	0
事業収入				
受託事業収入		0	0	0
小計		0	0	0
雑収入				
施設設備利用料				0
廃品売却収入				0
入学案内書頒布収入				0
その他の雑収入		700,000	1,084,131	384,131
退職積立金取崩				
小計		700,000	1,084,131	384,131
教育活動収入計		225,046,000	233,149,161	8,103,161
教育活動収支		予算	決算	差異
科 目				
人件費支出				
教員人件費支出		70,000,000	66,488,326	-3,511,674
職員人件費支出		18,000,000	13,073,373	-4,926,627
役員報酬				0
退職給与引当金繰入額				0
退職金				0
小計		88,000,000	79,561,699	-8,438,301
教育研究経費支出				
消耗品費支出		2,600,000	6,728,542	4,128,542
光熱水費支出		2,600,000	2,823,734	223,734
旅費交通費支出		0	0	0
車両燃料費支出		0	0	0
福利費支出		0	0	0
通信運搬費支出		0	0	0
印刷製本費支出		120,000	312,838	192,838
教科書等購入支出		2,000,000	1,902,420	-97,580
修繕費支出		400,000	50,718	-349,282
損害保険料支出		0	0	0
賃貸料支出		33,000,000	33,000,000	0
公租公課支出		0	0	0
諸会費支出		1,800,000	1,641,000	-159,000

	会議費支出	0	0	0
	報酬・委託・手数料支出	0	0	0
	実習費支出	3,500,000	3,419,099	-80,901
	補助活動事業支出	0	56,000	56,000
	減価償却費	5,000,000	5,876,239	876,239
	雑費支出	0	0	0
				0
事業活動支出の部	小計	51,020,000	55,810,590	4,790,590
	管理費支出			
	消耗品費支出	4,500,000	4,574,715	74,715
	光熱水費支出	780,000	920,594	140,594
	旅費交通費支出	1,500,000	903,689	-596,311
	車両燃料費支出	0	9,483	9,483
	福利費支出	320,000	278,740	-41,260
	通信運搬費支出	1,500,000	1,457,959	-42,041
	所定福利費等支出	9,900,000	10,155,422	255,422
	出版物費支出	0	0	0
	修繕費支出	30,000,000	29,493,497	-506,503
	損害保険料支出	3,300,000	4,218,939	918,939
	賃貸料支出	0	0	0
	公租公課支出	0	4,224	4,224
	諸会費支出	0	0	0
	広報費支出	19,000,000	14,323,776	-4,676,224
	会議費支出	300,000	378,958	78,958
	渉外費	300,000	332,171	32,171
	報酬・委託・手数料支出	3,300,000	3,300,676	676
	補助活動仕入れ支出	0	0	0
	補助活動事業支出	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	雑費支出	7,500,000	7,098,208	-401,792
	小計	82,200,000	77,451,051	-4,748,949
	借入金等利息			
	借入金利息支出			0
	小計	0	0	0
	資産処分差額			
	不動産処分差額			0
	有価証券処分差額			0
	退職積立金取崩			0
	小計	0	0	0
	徴収不能繰等			
	徴収不能引当金繰入額			0
	徴収不能額			0
	小計	0	0	0
	教育活動支出計	221,220,000	212,823,340	-8,396,660
	教育活動収支差額	3,826,000	20,325,821	16,499,821
事業活動外収入の部	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金			
	第3号基本金引当金特定資産運用収入			0
	その他の受取利息・配当金	1,000,000	6,585,169	5,585,169
	小計	1,000,000	6,585,169	5,585,169
	その他の教育活動外収入			
	収益事業収入			0
	為替差益		5,786,466	5,786,466
	小計	0	5,786,466	5,786,466
	教育活動外収入計	1,000,000	12,371,635	11,371,635
事業活動外支出の部	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息			
	借入金利息			0
	有価証券売却損		21,289,335	21,289,335
	小計	0	21,289,335	21,289,335
	教育活動外支出計	0	21,289,335	21,289,335
	教育活動外収支差額	1,000,000	-8,917,700	-9,917,700
	經常収支差額	4,826,000	11,408,121	6,582,121
事業	科目	予算	決算	差異
	資産売却差額			
	小計	0	0	0

特別収支	活動収入の部	その他の特別収入				
		施設設備寄付金			0	
		現物寄付			0	
		施設設備補助金			0	
		過年度修正額			0	
		小計	0	0	0	
		特別収入計	0	0	0	
	事業活動支出の部		科 目	予算	決算	差異
			資産処分差額			
			固定資産除却損		7	7
			小計	0	7	7
			その他の特別支出			
			災害損失			0
			過年度修正額			0
			小計	0	0	0
		特別支出計	0	7	7	
		特別収支差額	0	-7	-7	
	[予備費]	()				
	基本金組入前当年度収支差額	4,826,000	11,408,114			
	基本金組入額合計	-4,000,000	-7,096,516			
	当年度収支差額	826,000	4,311,598	3,485,598		
	前年度繰越収支差額	50,214,118	50,214,118			
	基本金取崩額					
	翌年度繰越収支差額	51,040,118	54,525,716			
	(参考)					
	事業活動収入計	226,046,000	245,520,796	19,474,796		
	事業活動支出計	221,220,000	234,112,682	12,892,682		

監 査 報 告 書

令和 5年 6月/5日

学校法人 東京芸術学園

理 事 会 御中

評 議 員 会 御中

学校法人 東京芸術学園

監事

小 藤 勇 一

監事

芦 家 美

私たちは、学校法人 東京芸術学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和 4年度(令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書)を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以 上